

令和8年度 事務事業評価シート（1）

〔 令和7年度事務事業 〕

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業	
事務事業名	がん検診（本庁）				事業番号	011-183	
担当部署名	健康福祉局	局	健康部	部	健康推進課	課	

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画2025	施策との関連	有・無	戦略	2.人生100年時代の健康・福祉 ～Well-being～		施策	(1)健康で長生きできる都市の実現		
			有	取組の方向性	②生活習慣病の発症予防・重症化の予防					
		寄与するKPI	有・無	指標名	—					
	無		現状値	—			目標値	—		
	堺市SDGs未来都市計画 2021-2025	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(3)すべての人に健康と福祉を		ターゲット	3.8		
			有	取組	検診や予防接種の受診体制の整備					
		寄与するKPI	有・無	指標名	—					
			無	現状値	—			目標値	—	
2	関連計画			さかい健康プラン						
3	事業開始年度			昭和 58 年度		点検対象年度（堺市基本計画2030）		令和 12 年度		
4	実施根拠			健康増進法、がん対策基本法、堺市がん対策推進条例、堺市胃がん検診の実施に関する要綱、堺市肺がん検診の実施に関する要綱、堺市大腸がん検診の実施に関する要綱、堺市子宮頸がん検診の実施に関する要綱、堺市乳がん検診の実施に関する要綱						

事業の概要

5	事業の実施主体	本庁、各区						
6	事業の対象	胃：50歳以上偶数年齢の市民 肺：40歳以上の市民 大腸：40歳以上の市民 子宮頸：20歳以上偶数年齢の女性市民 乳：40歳以上偶数年齢の女性市民					対象数	単位
							306,352	人
7	事業の目的	胃、肺、大腸、子宮頸、乳がんを早期に発見し治療に結びつけることで、将来的ながんによる死亡者の減少を実現する。						
8	事業内容	・検査内容 胃：胃部エックス線又は胃内視鏡検査 肺：胸部エックス線検査、たんの検査 大腸：便潜血検査 子宮頸：視診、内診、子宮頸部の細胞診 乳：マンモグラフィ（40歳代の必要な方には超音波検査も実施） ・受診希望者は直接医療機関へ検査を申し込む。 ・検診結果により、要精密検査になった方には精密検査を案内する。						
		※国・府の基準より上回って実施した内容						
9	主な支出先	一般社団法人堺市医師会						
10	公民連携・協働事業							

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標	単位		実績		目標	目標
	悪性新生物（がん）の死亡率（人口10万人対）	－		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和12年度
			目標値	317.5	317.5	325.2	325.2
			実績値	327.0	集計中		
達成率	97%	－					
当該指標を選定した理由		がんによる死亡者を減らすという本事業の目的と合致するため。					
目標値の設定根拠・算出方法		過去3年間の平均値(R4-R6)から悪化させないという観点で設定。					

12	活動指標	単位		実績		目標	
	地域保健・健康増進事業報告におけるがん検診受診率（5がん平均）	％		令和6年度	令和7年度	令和8年度	
			目標値	10.3	10.3	10.3	
			実績値	9.1	集計中		
達成率	88%	－					
当該指標を選定した理由		各がん検診の受診率を上げることにより、がんの早期発見・早期治療につながり、がんで亡くなる市民を減らすことができるため。 ※国の「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」において5がん検診（胃がん・肺がん・大腸がん・子宮頸がん・乳がん）が定められている。					
目標値の設定根拠・算出方法		国の地域保健・健康増進事業報告におけるがん検診受診率（全住民・69歳以下）は、全国及び他市比較が可能な指標である。全国平均10.2%（令和6年度実績 最新公表値）を上回る値を目標とする。					

令和8年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	がん検診（本庁）	事業番号	011-183
-------	----------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）

	項 目	令和5年度	令和6年度	令和7年度		令和8年度
		決算	決算	当初予算	決算	当初予算
13	事業費（a）	877,105	849,934	883,254	823,991	865,840
	国支出金	496	661	610	836	455
	府支出金	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0
	その他（堺市民健康生きがいづくり基金等）	27,200	27,200	25,000	44,241	69,485
	受益者負担金(使用料、手数料等)	0	0	0	0	0
	一般財源	849,409	822,073	857,644	778,914	795,900
14	人件費（b）	17,670	19,350	22,640	22,640	31,530
15	年間経費（c）=(a)+(b)	894,775	869,284	905,894	846,631	897,370

事業費の内訳

（単位：千円）

	項 目	年度		事業費	うち 一般財源	項 目	年度		事業費	うち 一般財源
		R7	決算				R7	決算		
16	報酬、職員手当	R7	決算	3,123	2,362	がん検診委託料	R7	決算	722,571	678,330
		R8	予算	3,279	2,864		R8	予算	761,903	692,418
	報償費	R7	決算	264	264	読影センター委託料	R7	決算	76,890	76,890
		R8	予算	462	462		R8	予算	73,984	73,984
	旅費	R7	決算	225	225	その他委託料	R7	決算	5,001	5,001
		R8	予算	228	228		R8	予算	6,473	6,473
	需用費	R7	決算	3,625	3,625	人材派遣委託料	R7	決算	9,595	9,595
		R8	予算	3,896	3,896		R8	予算	10,766	10,766
	役務費	R7	決算	2,697	2,622		R7	決算		
		R8	予算	4,849	4,809		R8	予算		

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

	区 分	単位	令和6年度	令和7年度
17	① がん検診受診者数（胃・肺・大腸・子宮頸・乳）	人	119,181	集計中
	② 上記①にかかる年間経費	千円	869,284	846,631
	③ 単位当たり経費（②÷①×1,000円）	円/単位	7,294	—
	算出についての説明等	各検診にかかる費用を算出		

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	受診者数については、コロナ禍以前の実績（令和元年度5がん合計128,236人）に達しておらず、個別受診勧奨や幅広い啓発等の実施など、受診者数の増加に向けた更なる取組が必要である。 なお、読影センターの運営、検診医療機関の医師向け研修や精度管理委員会の開催等により、がん検診の精度は維持できている。
----	---

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19	がん検診の自己負担金無償化、受診勧奨や啓発等を実施し、市民に定期的ながん検診受診を促すことで、がんの早期発見、早期治療につなげることが可能となることから、堺市基本計画2025の「健康で長生きできる都市の実現」やさかい健康プランの「個人の行動と健康状態の改善」に寄与したと考える。 今後も、ICT(SNS等)や企業連携の機会を活用した多種多様な手法で啓発や受診勧奨を実施し、がん検診の周知や正しい知識の普及を行うなど、受診者数の更なる増加及び受診率向上に向けて取り組む。
----	---

令和3年度からの実績等を踏まえた事業の必要性・有効性に係る所見（前年度の事務事業評価で点検対象年度を令和7年度とした事業のみ記載）

20	必要性	■ 高い □ 低い	がんの早期発見による死亡率低減は、市民の健康寿命の延伸の観点から重要な課題であり、受診率向上に向けた行政の関与は不可欠である。 受診機会の拡充及び負担軽減により受診行動の変容が促進されており、検診を契機とした早期発見への寄与が期待できる。
	有効性	■ 高い □ 低い	